

平成29年度 事業報告書

国は、高齢者介護・医療がピークとなる2025年に向けて「医療、介護、予防、住まい、生活支援が包括的に確保される『地域包括ケアシステム（将来、中重度の要介護者や認知症高齢者となったとしても「住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられるようにする）』を推進しています。

私たち社会福祉法人の役割は増大し、「地域福祉の拠点」となり①その有する資源やノウハウを最大限活用②在宅サービスを提供③地域の生活困窮者を支援④地域活性化を支援⑤地域包括支援センターと密接に連携することで地域包括ケアシステムに貢献していくことが求められています。また、社会福祉法の改正、介護報酬の改定等に対応し、法人理念「笑顔の創造 心と心意気」を一層推進して重点事項を取り組みました。

1 中期経営計画書（平成29年度～平成31年度）の重点取り組み事項

1. 社会福祉法人制度改革（社会福祉法改正）の趣旨に基づいた法人経営を実践。
2. ご入居者の人権と尊厳を守るため、身体拘束廃止に向けての取り組みを引き続き強化。
3. 介護職員等の採用活動を強化。（コスモスのリクルートチームを結成）
4. 働きがいがあり、魅力ある職場づくり。
5. 非常災害時における防災体制を整備・強化。

2 適正に事業を運営する 平成30年3月31日 入居者数 79人

1. 介護老人福祉施設+ショートステイ 合計稼働率93.4%（目標98% 前年比▲0.6%）
2. 介護老人福祉施設 ①稼働率91.7%（目標97.5% 前年比▲1.3%） ②平均介護度3.81
③新入居者 26人（前年比▲7人） 自宅16人（ショートステイ含14人） 医療機関7人 その他3人
④退居者 22人（前年比▲14人） 看取り11人 医療機関8人 自主退居3人
⑤介護度別 軽度者 4人（▲2） 介護1 1人（0） 介護2 3人（▲2）
中重度者75人（+7） 介護3 28人（▲3） 介護4 27人（+5） 介護5 20人（+5）
⑥出身地 福井市59人（+6） 鯖江市9人（+1） 越前市4人（0） 大野市3人（0）
坂井市1人（0） 永平寺町1人（0） 南越前町1人（0） 池田町1人（0）
3. ショートステイ ①稼働率100.5%（目標100% 前年比+2.3%） ②平均介護度2.8
4. デイサービスセンター ①稼働率67.5%（目標90% 前年比▲3.8%） ②平均介護度1.8
③利用者登録54人（前年比▲6人） ④地区別 文殊地区26人 上文殊地区10人 東郷地区2人
麻生津地区11人 酒生地区1人 岡保地区1人 一乗地区1人 市内3人
5. 居宅介護支援事業所 ①登録利用者 要介護者56人（+1） 要支援者11人（+3）

3 管理部門

1. 事業目的を実現し成果を最大化するために、組織統治（ガバナンス）の強化。
 - 1) 経営陣として経営に参画し事業計画を確実に推進できるよう、管理職から理事の登用を行った。
 - 2) 管理職員への権限と責任を委譲することにより、自立的、分権的な業務執行体制を整備した。
2. 地域交流センターを地域交流の場として提供、また災害時の福祉避難所として地域貢献する。
 - 1) 文殊地区社会福祉協議会による文殊地区福祉祭りが行われた。地域住民約120人参加
福祉用具展示（居宅）、介護相談の受付（地域包括支援センター）を行った。
 - 2) 地域（文殊ヶ丘団地、太田町）の高齢者に対し演芸会の案内を4回行った。延52名参加。
3. 働きがいがあり、魅力ある職場づくり。
 - 1) 職員の健康の維持・増進のために負担の少ない介護技術の研究。
 - (1) 介護技術・機器（腰痛予防）、労働環境の改善。
 - ①購入 ・移乗用具（全ユニット配置） ・移乗ボード5枚 ・車イス（平行移乗用）10台
 - ②改修 ・浴室にリフト機器を設置（2ユニット）
 - ③研修 ・腰痛予防研修会（内部） ・東京国際福祉機器展視察（入浴装置等）等
 - ④雇用 ・介護補助等に高齢者を採用 3人
 - (2) 産業医と連携し、健康増進、メンタルヘルス（悩み、不安、不満）に配慮。
 - ①職員の健康 ・ストレスチェック実施 ・インフルエンザ予防接種 ・腰痛予防体操等
 - ②産業医との連携 ・健康相談（毎月） ・施設内の巡回指導
 - 2) 常に自己を高め前進する職員を育成し、人財の定着促進を図るために処遇改善策を検討。

- (1) 役割人事制度（キャリアパス）の推進。 ・全職員の面談を実施等。
 - (2) 介護職員処遇改善加算による処遇の向上。
 - ・処遇改善手当を体系化する等の見直しを行った。（介護職員及び介護職員以外の職員）
 - (3) 福利厚生
 - ・職員旅行 15,000 円/人
 - ・職員親子交流会（トマト収穫体験）
 - ・バレーボール大会出場
 - ・FBCリレーマラソン出場
 - (4) 資格取得補助 ・介護職員初任者研修 1 名
 - (5) 外部研修派遣 ・ユニットケア全国セミナー ・人材マネジメント研修 ・会計実務研修
 - (6) リフレッシュ休暇制度 取得者 2 1 人(対象 正職員 入職 3 年以上 連続休暇 5 日間)
4. 福祉サービス第三者評価の受審を行った(福井県社会福祉協議会)。結果は福井県ホームページに掲載。
5. 法人のPRを積極的に発信。
- 1) 広報誌「ほやほやだより」の発行を年 4 回行った。 ・ユニット単位の紙面を製作した。
 - 2) 介護職員等採用活動を目的に職員によるリクルートチームを結成した。
 - ・平成 3 0 年度新規学卒者採用(介護職 5 人) ・就職セミナー参加 ・出身校訪問 ・冊子製作等

4 生活支援部門

1. 地域包括ケアシステムを推進するために地域包括支援センター等と連携。
- 1) 地域包括支援センターとの連携
 - ①「介護予防教室」開催 2 回(介護用品の展示(居宅))
 - ②東足羽介護者の集いの協力
 - ③認知症サポーター養成講座実施(対象 文殊小学校児童)
 - 2) 文殊地区関係
 - ①文殊地区敬老会(文殊地区社会福祉協議会)に入居者が参加した。
 - ②演芸会等のイベントに地域の高齢者を招く。コスモス祭り、演芸会等
2. ご入居者の人権と尊厳を守るため、身体拘束廃止を強化。(目標 身体拘束ゼロの達成)
- ・職員全体の人権感覚を高めるため内部研修会を実施。 ・身体拘束の対象者 1 人(前年比▲1 人)
3. 健康で豊かな生活を支援。
- 1) 生活に潤いを与え、心身の健康増進に取り組む。
 - (1)園芸療法 ・桜、チューリップ、越前スイセン、バラ、イチゴ等を植樹し季節ごとに観賞。
 - (2)音楽療法 ・年 4 回実施(内、京都音楽院の指導 年 2 回)
 - (3)芸術鑑賞療法 ・絵画等の美術品を展示(約 1 4 0 点)
 - (4)新鮮で安全な食材提供 ・トマト、スイカ、メロン、ソーメンカボチャ、聖護院カブ等を栽培。
 - 2) 介護サービスの充実・強化に取り組む。
 - (1) 中重度の要介護者(介護度 3 以上)に対し介護老人福祉施設、ショートステイの利用促進を行った。
 - (2) 入居者・利用者の自立支援、機能低下予防を目的に理学療法士(常勤)を配置した。
 - (3) 看取り期の方に対し家族、嘱託医、職員(介護、看護、栄養等)が連携し対応を行った。
 - (4) 口腔・栄養管理の取り組み。 ・歯科衛生士の指導(月 1 回)実施 ・経管栄養(胃ろう) 6 人
 - (5) 快適な排泄の環境作りの取り組み。 ・購入 スキントラブル防止の洗浄液(新)
 - (6) 褥瘡発生ゼロの取り組み。 ・発生者 0 人 ・購入ベッド用体圧分散マット 1 7 枚
 - (7) 感染症対策の取り組み。 ・インフルエンザ、感染性胃腸炎 発生者 0 人
4. 生活支援において高い専門性を有する人材育成に取り組む。
- 1) 資格取得者数 ・介護福祉士 3 7 人(取得割合 63.1%) ・介護支援専門員 1 2 人
 - 2) 医療的ケア(吸いん等 5 0 時間研修修了者) 1 5 人
5. 家族との関係強化。
- 1) 家族との懇談会及び家族との交流。 ・トマト収穫体験 ・コスモス祭り ・ユニット催し等
 - 2) インフルエンザ流行期の入居者等の安全確保。
 - 面会制限(1 月 30 日～3 月 31 日) 面会時間(9 時～17 時)、面会者の体調確認、全体行事中止等。
6. 地域福祉の向上。
- 1) ボランティアの受け入れ。 ・団体(歌、踊り等)・個人(ギター演奏等) ・日赤奉仕団文殊分団(作業)
 - 2) 保育・教育機関との連携。 ・文殊こども園(ふれ合い) ・文殊小学校(福祉授業)、
・足羽中学校、足羽第一中学校(介護体験) ・JA 女性部等
 - 3) 介護資格養成機関より介護実習生受入れ ・介護福祉士 2 人 ・実務者研修 2 人 ・初任者研修 7 人
 - 4) 通学路の除雪を除雪機で 6 回行った。(県道 3 2 号線 太田町の一部歩道)
 - 5) その他 ・高校生職場体験 3 人 ・義務教育教員免許志願者研修 1 人 ・サマーボランティア 5 人